

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 教授	氏名 壁谷 一広	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
英語II (英語応対能力) 英語による基礎的な応対能力向上を目指したプリペアドスピー キングの取り組みの導入	平成29年～現在	コミュニケーションの状況に必要な表現・使い方を学んだ後、そ れらの表現を類似の状況下で使う練習を通して、想定外の問いか けにもスムーズに答えられる応対能力の向上を目指した。				
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
Learning Assistance at OUHS	平成30年10月25日	51st Annual CRLA (College Reading & Learning Association) Conference (Hyatt Regency Albuquerque, NM)				
アメリカにおけるライティング支援施設の現状と日本におけるそ の影響	平成30年3月29日	日本リメディアル教育学会 第12回 関西支部大会 (滋賀大学彦 根キャンパス)				
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
Effects of Activities Incorporating Spiral Learning in an Active Learning English Reading Class - An Attempt to Enhance the Effect of Active Learning	©Kazuhiro Kabeya, Julian Wayne	Bulletin of Osaka University of Health and Sport Sciences	第49号	39頁～55頁	平成30年3月	
体育系学部の学生に効果的な英語授業の 特性-質問紙調査と授業実践の分析にも とづいて-	©望月好恵、壁谷一広、大和久 史恵、鈴木政浩	リメディアル教育研究	第13巻	5頁～21頁	令和元年5月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国際学会	平成30年10月	51st Annual CRLA (College Reading & Learning Association) Conference	The Learning Assistance System in Japan in 2018 "Learning Assistance at OUHS"	Hyatt Regency Albuquerque Albuquerque, NM	Kazuhiro Kabeya	
国際学会	令和元年10月	NCLCA (National College Learning Center Association) 34th Annual Conference	Tutor training programs in Japan and the United States	Hyatt Regency Louisville, KY	©Yumi Ishige, Kazuhiro Kabeya	
国内(一般演題)	平成31年3月	日本リメディアル教育学会 第12回 関西支部大会	アメリカにおけるライティング支援施設の現況と日本におけるその影響	滋賀大学彦根キャンパス	◎長尾佳代子、壁谷一広	
国内(一般演題)	令和元年8月	日本リメディアル教育学会 第15回 全国大会	UNIVAS (日本版NCAA) が日本の学習支援に与える影響(NCAAとの比較からの考察)	金沢工業大学	壁谷一広	
国内(一般演題)	令和元年11月	日本リメディアル教育学会 第2回 授業実践フォーラム・第11回 九州・沖縄支部会	学習支援センターの活動に対する評価を高めるための取り組み アメリカの大学での実践をもとに	沖縄産業支援センター	壁谷一広	
国内(シンポ)	令和3年8月	日本リメディアル教育学会第16回全国大会 学習支援センター交流会	全米学習センター協会の取り組み	オンライン開催	壁谷一広	
国内(一般演題)	令和3年8月	日本リメディアル教育学会第16回全国大会	学習支援の向上に求められる学習支援センターの質保証を考える アメリカの学習支援関連学会の認定制度をもとに	オンライン開催	壁谷一広	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
<b>III 加入学会および社会における活動</b>						
期 間	内 容					
加入学会						
平成9年4月～現在	大学英語教育学会 会員					
平成9年6月～現在	日本児童英語教育学会 会員					
平成9年10月～現在	東北英語教育学会 会員 福島支部理事・査読員 (平成13年～平成28年)					
平成15年4月～現在	全国英語教育学会 会員 査読員 (平成22年～平成25年)					
平成14年12月～現在	短期大学英語教育研究会 (平成29年度より英語教育実践研究会) 会員 運営委員 (平成18年～現在)					
平成18年10月～現在	日本リメディアル教育学会 会員 理事・東北支部長 (平成18年～平成23年)、査読員 (平成18年～現在)、国際交流委員会副委員長 (平成30年～令和3年8月)、国際交流委員会委員長 (令和3年8月～現在)					
令和元年11月～現在	College Reading & Learning Association 会員					
令和元年11月～現在	National College Learning Center Association 会員 (令和3年8月から日本支部長)					
社会的活動						
<b>IV 管理活動</b>						
期 間	内 容					
委員会活動						
平成28年4月～現在	研究委員会 (平成30年度: 紀要部会、令和元年: 在外スポーツ部会)					
平成29年4月～平成31年3月	キャリア支援委員会					
平成31年4月～令和2年3月	国際交流委員会					
平成31年4月～現在	入試委員会					

特別プロジェクト活動						
<b>V クラブ活動の指導業績</b>						
1. 指導クラブ名	レスリング	部	2. 役職	副部長	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所		
	文部科学大臣杯（令和3年度）全日本大学レスリングフェデレーションスタイル選手権大会 令和3年度 西日本学生レスリング秋季リーグ戦		10月9日・10日 11月27日・28日	J:COM末広体育館 東和薬品RACTABドーム		
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）						
開 催 期 間	大 会 名		成 績	場 所		
<b>VI 賞罰（職務に関する賞罰）</b>						
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考	